

3. 4 共通の変状

変状の種類
⑬ 補修・補強材の変状
⑭ 定着部の変状
⑮ 変色・劣化
⑯ 漏水・滞水
⑰ 異常な音・振動
⑱ 変形・欠損
⑲ 土砂詰まり
⑳ 沈下・移動・傾斜
㉑ 洗掘
㉒ 吸い出し

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ 鋼板、炭素繊維シート、ガラスクロスなどのコンクリート部材表面に設置された補修・補強材料や塗装などの被覆材料に、うき、変形、剥離などの変状が生じた状態をいう。

補修・補強材の分類は次による。

ア) コンクリート部材への補修・補強材

分類	補修・補強材料
1	鋼板
2	繊維
3	コンクリート系
4	塗装



写真番号 C-13.1.1

説明

頂版の補修モルタルに漏水・遊離石灰が生じた例。

【分類3：コンクリート系】



写真番号 C-13.1.2

説明

側壁の補修モルタルにひびわれが生じた例。

【分類3：コンクリート系】

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-13.1.3

説明
側壁の補修モルタルにうきが
生じた例。

【分類3：コンクリート系】



写真番号 C-13.1.4

説明
隔壁の断面修復材が劣化しう
きが生じた例。

【分類3：コンクリート系】

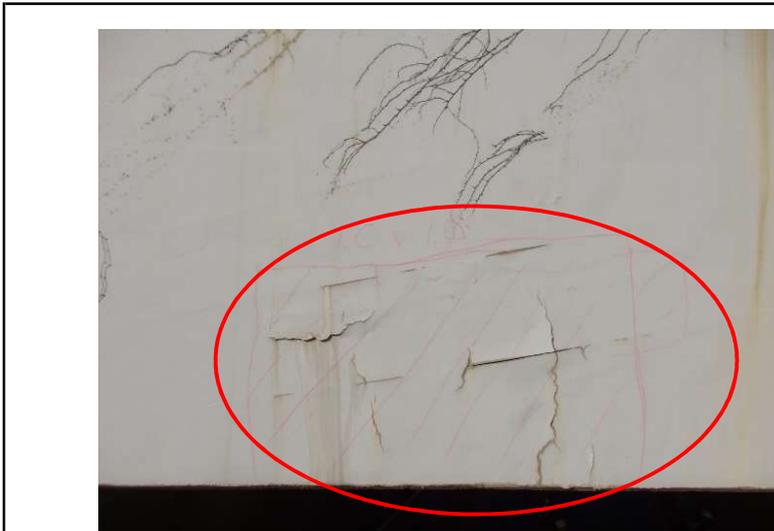


写真番号 C-13.1.5

説明
頂版の保護塗装に塗装剥がれ
が生じた例。

【分類4：塗装】

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-13.1.6

説明
頂版の保護塗装にうきが生じた例。
(注：補修・補強材の変状を赤線でマーキングしている)

【分類4：塗装】



写真番号 C-13.1.7

説明
側壁の保護塗装に剥離が生じた例。
(注：補修・補強材の変状を赤線でマーキングしている)

【分類4：塗装】



写真番号 C-13.1.8

説明
側壁の保護塗装にうきが生じた例。

【分類4：塗装】

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ 補修・補強材の変状は、材料や構造によって様々な形態が考えられる。また、漏水や遊離石灰など補修・補強されたコンクリート部材そのものの変状に起因する変状が現れている場合もあり、これらについても補修・補強材の機能の低下と捉え、本体の変状とは区別してすべて本項目「補修・補強材の変状」として扱う。
- ◆ 分類3（コンクリート系）においてひびわれや剥離・鉄筋露出などの変状が生じている場合には、それらの変状としても扱う。
- ◆ 分類4（塗装）は、「防食機能の劣化」としては扱わない。



写真番号 C-13.2.1

説明

頂版端部の補修モルタルにうきが生じている。

この場合、「補修・補強材の変状」、「うき」の2項目として扱う。



写真番号 C-13.2.2

説明

頂版の補修モルタルに剥離・鉄筋露出が生じている。

この場合、「補修・補強材の変状」、「剥離・鉄筋露出」の2項目として扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 C-13.2.3

説明

頂版の補修モルタルに漏水および遊離石灰が生じている。

この場合、「補修・補強材の変状」、「漏水・遊離石灰」の2項目として扱う。



写真番号 C-13.2.4

説明

側壁の補修モルタルにうき、ひびわれが生じている。

この場合、「補修・補強材の変状」、「うき」、「ひびわれ」の3項目として扱う。



写真番号 C-13.2.5

説明

側壁のひび割れ注入箇所にひびわれが生じている。

この場合、「補修・補強材の変状」、「ひびわれ」の2項目として扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 C-13.2.6

説明

側壁の補修モルタルに遊離石灰およびうきが生じている。

この場合、「補修・補強材の変状」、「漏水・遊離石灰」、「うき」の3項目として扱う。



写真番号 C-13.2.7

説明

保護塗装を施した側壁に剥離が生じている。

コンクリート部材への保護塗装は、「補修・補強材の変状」として扱い、「防食機能の劣化」としては扱わない。

写真番号 —

説明

—

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「補修・補強材の変状」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

分類1：鋼板

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	補強部の鋼板のうきは発生していないものの、シーリング部分の一部剥離又は錆又は漏水のいずれかの変状が見られる。
d	—
e	次のいずれかの変状が見られる。 <ul style="list-style-type: none"> ・補強部の鋼板のうきが発生している。 ・シーリング部分がほとんど剥離し、一部にコンクリートアンカーのうきが見られ、錆及び漏水が著しい。 ・一部のコンクリートアンカーに、うきが見られる。 ・コンクリートアンカーに腐食が見られる。

分類2：繊維

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	補強材に、一部のふくれ等の軽微な変状がある。 又は、補強されたコンクリート部材から漏水や遊離石灰が生じている。
d	—
e	補強材に著しい変状がある。又は断裂している。 又は、補強されたコンクリート部材から漏水や遊離石灰が大量に生じている。

分類3：コンクリート系

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	補修・補強されたコンクリート部材から漏水や遊離石灰が生じている。 又は、補修・補強材に軽微な変状がある。
d	—
e	補修・補強されたコンクリート部材から漏水や遊離石灰が大量に生じている。 又は、補修・補強材に著しい変状がある。

分類4：塗装

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	塗装の剥離が見られる。
d	—
e	塗装がはがれ、補修されたコンクリート部材に錆汁が認められる又は漏水や遊離石灰が大量に生じている。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(1/3)

評価 c



写真番号	C-13.3.1
部材名	
頂版	(CV-C-Cr)
備考	繊維シートに一部のふくれ等の軽微な変状が生じている。 【分類2：繊維】



写真番号	C-13.3.2
部材名	
頂版	(CV-C-Cr)
備考	補修モルタルに変状が見られ、一部が剥落し錆が生じている。 【分類3：コンクリート系】



写真番号	C-13.3.3
部材名	
頂版	(CV-C-Cr)
備考	頂版の補修モルタルに剥離・鉄筋露出が生じている。 【分類3：コンクリート系】

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(2/3)

評価 c



写真番号	C-13.3.4
部材名	
頂版	(CV-C-Cr)
備考	頂版端部の補修モルタルにうきが生じている。 【分類3：コンクリート系】

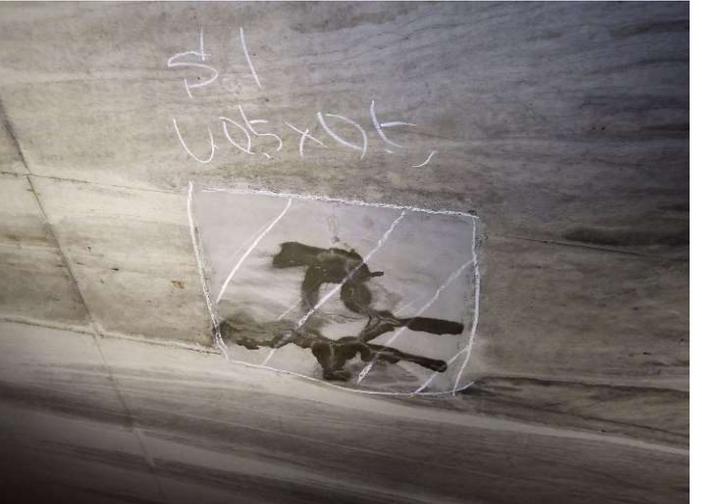


写真番号	C-13.3.5
部材名	
側壁	(CV-C-Sw)
備考	側壁の保護塗装に剥落が生じている。 (注：補修・補強材の変状を赤線でマーキングしている) 【分類4：塗装】



写真番号	C-13.3.6
部材名	
ウイング	(W-C-Ww)
備考	ウイングの保護塗装に剥離が生じている。 【分類4：塗装】

共通の変状	⑬補修・補強材の変状	10 / 10
-------	------------	---------

(Ⅲ)変状程度の評価									
(2)評価例(3/3)	評価 e								
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-13.3.7</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>頂版</td> <td>(CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>頂版の補修モルタルにうきが 生じている。 【分類3：コンクリート系】</td> </tr> </table>	写真番号	C-13.3.7	部材名		頂版	(CV-C-Cr)	備考	頂版の補修モルタルにうきが 生じている。 【分類3：コンクリート系】
	写真番号	C-13.3.7							
	部材名								
	頂版	(CV-C-Cr)							
備考	頂版の補修モルタルにうきが 生じている。 【分類3：コンクリート系】								
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-13.3.8</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>頂版</td> <td>(CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>頂版の補修モルタルにうきが 生じている。 【分類3：コンクリート系】</td> </tr> </table>	写真番号	C-13.3.8	部材名		頂版	(CV-C-Cr)	備考	頂版の補修モルタルにうきが 生じている。 【分類3：コンクリート系】
	写真番号	C-13.3.8							
	部材名								
	頂版	(CV-C-Cr)							
備考	頂版の補修モルタルにうきが 生じている。 【分類3：コンクリート系】								
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-13.3.9</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>側壁</td> <td>(CV-C-Sw)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>側壁の補修モルタルにうきと 遊離石灰が生じている。 【分類3：コンクリート系】</td> </tr> </table>	写真番号	C-13.3.9	部材名		側壁	(CV-C-Sw)	備考	側壁の補修モルタルにうきと 遊離石灰が生じている。 【分類3：コンクリート系】
	写真番号	C-13.3.9							
	部材名								
	側壁	(CV-C-Sw)							
備考	側壁の補修モルタルにうきと 遊離石灰が生じている。 【分類3：コンクリート系】								

(I)一般的性状・変状の特徴

- ◆ P C鋼材の定着部のコンクリートに生じたひびわれから錆汁が認められる状態，又はP C鋼材の定着部のコンクリートが剥離している状態をいう。
- ◆ 定着構造の材質にかかわらず，定着構造に関わる部品（止水カバー，定着ブロック，定着金具，緩衝材など）の変状の全てを対象として扱う。

定着部の分類は次による。

分類	定着部の種類
1	P C鋼材縦締め
2	P C鋼材横締め
3	その他



写真番号 C-14. 1. 1

説明
定着部の鋼材が露出した例。



写真番号 C-14. 1. 2

説明
定着部のコンクリートに錆汁を伴う遊離石灰が生じた例。

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-14. 1. 3

説明
定着部のコンクリートにうきが
生じた例。

(注：うきを赤線でマーキン
グしている)



写真番号 C-14. 1. 4

説明
定着部のコンクリートに遊離
石灰が生じた例。



写真番号 C-14. 1. 5

説明
定着部のコンクリートにひび
われが生じた例。

(I)一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-14.1.6

説明

定着部のコンクリートにうきが生じた例。

(注：うきを赤線でマーキングしている)



写真番号 C-14.1.7

説明

定着部にうき、ひびわれ、遊離石灰が生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-14.1.8

説明

定着部に遊離石灰が生じた例。

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ P C鋼材の定着部に腐食、剥離・鉄筋露出、ひびわれなどが生じている場合には、別途、それらの変状としても扱う。



写真番号 C-14.2.1

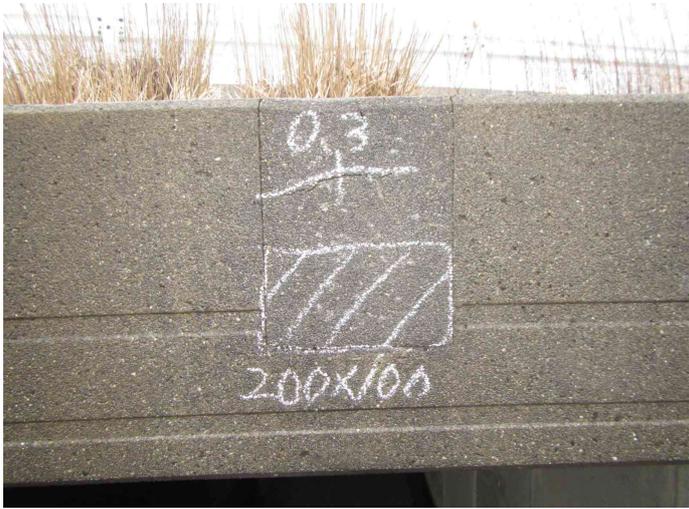
説明
定着部のコンクリートにうきが生じている。
この場合、「定着部の変状」、「うき」の2項目として扱う。



写真番号 C-14.2.2

説明
定着部のコンクリートにひびわれを伴う遊離石灰が生じている。
この場合、「定着部の変状」、「ひびわれ」、「遊離石灰」の3項目として扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係

	写真番号	C-14.2.3
	<p>説明</p> <p>定着部のコンクリートにうきとひびわれが生じている。</p> <p>この場合、「定着部の変状」、「うき」、「ひびわれ」の3項目として扱う。</p> <p>(注：ひびわれ，うきをチョークでマーキングしている)</p>	

	写真番号	C-14.2.4
	<p>説明</p> <p>定着部のコンクリートにひびわれとうきと遊離石灰が生じている。</p> <p>この場合、「定着部の変状」、「ひびわれ」、「うき」、「漏水・遊離石灰」の4項目として扱う。</p> <p>(注：うきをチョークでマーキングしている)</p>	

	写真番号	C-14.2.5
	<p>説明</p> <p>定着部のコンクリートが剥離し，鋼材が露出している。</p> <p>この場合、「定着部の変状」、「剥離・鉄筋露出」の2項目として扱う。</p>	

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 C-14.2.6

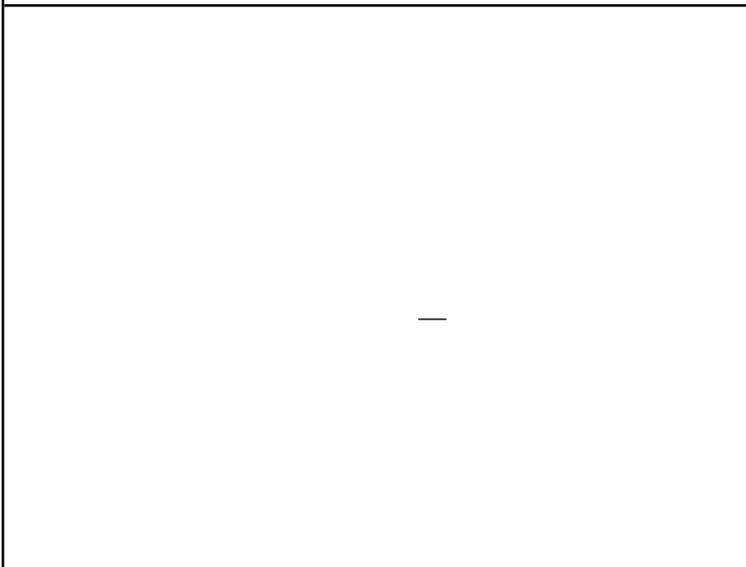
説明
 定着部のコンクリートにうきが生じている。
 この場合、「定着部の変状」、「うき」の2項目として扱う。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-14.2.7

説明
 定着部のコンクリートにうきと遊離石灰が生じている。
 この場合、「定着部の変状」、「うき」、「遊離石灰」の3項目として扱う。



写真番号 —

説明

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「定着部の変状」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

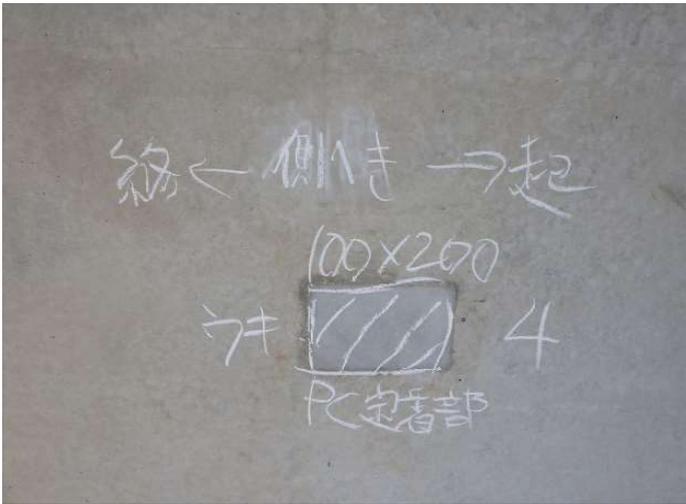
区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	P C 鋼材の定着部のコンクリートに変状が認められる。
d	—
e	P C 鋼材の定着部のコンクリートに著しい変状がある。

2) 定着部の分類

分類	定着部の種類
1	P C 鋼材縦締め
2	P C 鋼材横締め
3	その他

3) 変状パターンの区分

分類	変状
1	ひびわれ
2	漏水・遊離石灰
3	剥離・鉄筋露出
4	うき
5	腐食
6	保護管の変状
7	P C 鋼材の抜け出し
8	その他

(Ⅲ)変状程度の評価									
<p>(2)評価例(1/2)</p>	評価 c								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>写真番号</td><td>C-14.3.1</td></tr> <tr><td>部材名</td><td></td></tr> <tr><td>縦方向連結部</td><td>(J-X-Lj)</td></tr> <tr><td>備考</td><td>定着部のコンクリートにうきが 生じている。 (注：うきをチョークでマー キングしている)</td></tr> </table>	写真番号	C-14.3.1	部材名		縦方向連結部	(J-X-Lj)	備考	定着部のコンクリートにうきが 生じている。 (注：うきをチョークでマー キングしている)
写真番号	C-14.3.1								
部材名									
縦方向連結部	(J-X-Lj)								
備考	定着部のコンクリートにうきが 生じている。 (注：うきをチョークでマー キングしている)								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>写真番号</td><td>C-14.3.2</td></tr> <tr><td>部材名</td><td></td></tr> <tr><td>縦方向連結部</td><td>(J-X-Lj)</td></tr> <tr><td>備考</td><td>定着部のコンクリートに遊離 石灰が生じている。</td></tr> </table>	写真番号	C-14.3.2	部材名		縦方向連結部	(J-X-Lj)	備考	定着部のコンクリートに遊離 石灰が生じている。
写真番号	C-14.3.2								
部材名									
縦方向連結部	(J-X-Lj)								
備考	定着部のコンクリートに遊離 石灰が生じている。								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>写真番号</td><td>C-14.3.3</td></tr> <tr><td>部材名</td><td></td></tr> <tr><td>接合部</td><td>(J-X-Ju)</td></tr> <tr><td>備考</td><td>定着部のコンクリートに遊離 石灰が生じている。 (注：定着部の変状を赤線で マーキングしている)</td></tr> </table>	写真番号	C-14.3.3	部材名		接合部	(J-X-Ju)	備考	定着部のコンクリートに遊離 石灰が生じている。 (注：定着部の変状を赤線で マーキングしている)
写真番号	C-14.3.3								
部材名									
接合部	(J-X-Ju)								
備考	定着部のコンクリートに遊離 石灰が生じている。 (注：定着部の変状を赤線で マーキングしている)								

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(2/2)

評価 e



写真番号 C-14.3.4

部材名

縦方向連結部

(J-X-Lj)

備考

定着部のコンクリートが剥離し、鋼材が腐食している。



写真番号 C-14.3.5

部材名

接合部

(J-X-Ju)

備考

定着部のコンクリートから著しく遊離石灰が生じている。



写真番号 C-14.3.6

部材名

接合部

(J-X-Ju)

備考

定着部のコンクリートから著しく遊離石灰が生じている。

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ コンクリートの変色など部材本来の色が変化する状態，ゴムの硬化，又はプラスチックの劣化など，部材本来の材質が変化する状態をいう。



写真番号 C-15. 1. 1

説明

導水板付近の頂版コンクリート表面が変色した例。



写真番号 C-15. 1. 2

説明

継手部の目地材が劣化し，一部がずれた例。

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-15.1.3

説明
接合部の目地材が劣化した例。

写真番号 —

説明

写真番号 —

説明

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ 鋼部材における塗装やめっきの変色は、対象としない。
- ◆ コンクリート部材の表面を伝う水によって発生する汚れやコンクリート析出物の固化、排気ガスや“すす”などによる汚れなど、材料そのものの変色でないものは、対象としない（「⑳その他」として扱う）。
- ◆ 火災に起因する“すす”の付着による変色は、対象としない（「⑳その他」として扱う）。



写真番号 C-15.2.1

説明
頂版上からの漏水により変色している。
コンクリート部材の表面を伝う水によって発生する汚れなど、材料そのものの変色でないものは、対象としない。
コンクリート部材の表面を流れている場合は、「漏水・滞水」として扱う。



写真番号 C-15.2.2

説明
目地材が劣化し、目地・遊間部から漏水が生じている。
この場合、「変色・劣化」として扱うとともに、本来の排水機構によらず漏出している状態のため、「漏水・滞水」としても扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 C-15.2.3

説明

ひびわれ部からの漏水により保護塗装のコンクリートが変色している。

この場合、被覆材の汚れであるため「その他」として扱うとともに、コンクリート部材の変状のため、「ひびわれ」、「漏水・遊離石灰」としても扱う。

写真番号 —

説明

写真番号 —

説明

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「変色・劣化」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 対象とする材料や材質による分類

分類	材料・材質
1	コンクリート
2	ゴム
3	プラスチック
4	その他

注：ここでの分類は部材本体の材料・材質によるものであり、被覆材料は対象としていない。部材本体が鋼の場合の被覆材料は「防食機能の劣化」、コンクリートの場合の被覆材料は「補修・補強材の変状」として扱う。

2) 変状程度の評価区分

分類1：コンクリート

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	—
d	—
e	乳白色，黄色っぽく変色している。

分類2：ゴム

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	—
d	—
e	硬化している，又はひびわれが生じている。

分類3：プラスチック

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	—
d	—
e	脆弱化している，又はひびわれが生じている。

共通の変状	⑮変色・劣化	6 / 6
-------	--------	-------

(Ⅲ)変状程度の評価							
(2)評価例(1/1)	評価 e						
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-15.3.1</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>導水板付近の頂版コンクリート表面が変色している。 【分類1：コンクリート】</td> </tr> </table>	写真番号	C-15.3.1	部材名	頂版 (CV-C-Cr)	備考	導水板付近の頂版コンクリート表面が変色している。 【分類1：コンクリート】
	写真番号	C-15.3.1					
	部材名	頂版 (CV-C-Cr)					
	備考	導水板付近の頂版コンクリート表面が変色している。 【分類1：コンクリート】					
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-15.3.2</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>目地・遊間部 (J-X-Eg)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>頂版の目地材が劣化し、剥がれている。 【分類2：ゴム】</td> </tr> </table>	写真番号	C-15.3.2	部材名	目地・遊間部 (J-X-Eg)	備考	頂版の目地材が劣化し、剥がれている。 【分類2：ゴム】
	写真番号	C-15.3.2					
	部材名	目地・遊間部 (J-X-Eg)					
	備考	頂版の目地材が劣化し、剥がれている。 【分類2：ゴム】					
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-15.3.3</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>目地・遊間部 (J-X-Eg)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>側壁の目地材が劣化している。 【分類2：ゴム】</td> </tr> </table>	写真番号	C-15.3.3	部材名	目地・遊間部 (J-X-Eg)	備考	側壁の目地材が劣化している。 【分類2：ゴム】
	写真番号	C-15.3.3					
	部材名	目地・遊間部 (J-X-Eg)					
	備考	側壁の目地材が劣化している。 【分類2：ゴム】					

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ 排水施設等から雨水などが本来の排水機構によらず漏出している状態や、施設端部などに雨水が浸入し滞留している状態をいう。
- ◆ 激しい降雨などのときに排水能力を超えて各部で滞水を生じる場合がある。一時的な現象で、構造物に支障を生じないことが明らかな場合には、変状として扱わない。



写真番号 C-16. 1. 1

説明
頂版の継手部から漏水が生じた例。



写真番号 C-16. 1. 2

説明
頂版上に滞水した例。

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-16. 1. 3

説明
頂版上から漏水が生じた例。



写真番号 C-16. 1. 4

説明
導水板の隙間から漏水が生じた例。



写真番号 C-16. 1. 5

説明
地覆および縁石上に滞水した例。

(注：滞水箇所を赤線でマーキングしている)

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-16. 1. 6

説明

漏水により隔壁上に滞水した例。



写真番号 C-16. 1. 7

説明

地覆に滞水した例。



写真番号 C-16. 1. 8

説明

排水管取付部から漏水が生じた例。

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ コンクリート部材内部を通過してひびわれ等から流出するものについては、「漏水・遊離石灰」として扱う。
- ◆ 排水管の変状については、対象としない。排水管に該当する変状（「破断」、「変形・欠損」、「ゆるみ脱落」、「腐食」など）についてそれぞれの項目として扱う。

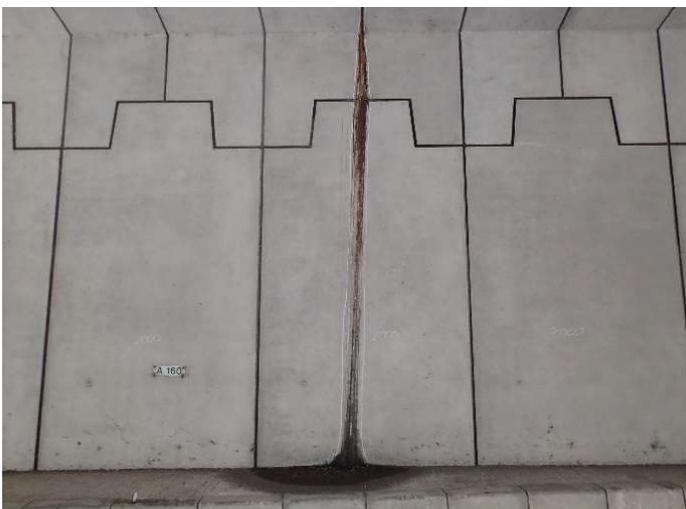


写真番号 C-16.2.1

説明

頂版の継手部から漏水している。

コンクリート部材内部を通過してひびわれ等から流出するものではないため、「漏水・滞水」として扱う。



写真番号 C-16.2.2

説明

頂版の接合部から錆汁を伴う漏水が生じ、側壁を伝っている。

接合部からの漏水であるが、錆汁が見られることから、「漏水・遊離石灰」として扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 C-16.2.3

説明
 導水板が破損し漏水している。
 この場合、排水施設の変状として「変形・欠損」として扱うとともに、本来の排水機構によらず漏出している状態のため、「漏水・滞水」としても扱う。



写真番号 C-16.2.4

説明
 舗装に滞水している。
 路面の凹凸により、一次的な現象で滞水が生じており、構造物に支障が生じていないことが明らかな場合は、「路面の凹凸（舗装の異常）」として扱う。

写真番号 —

説明

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「漏水・滞水」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

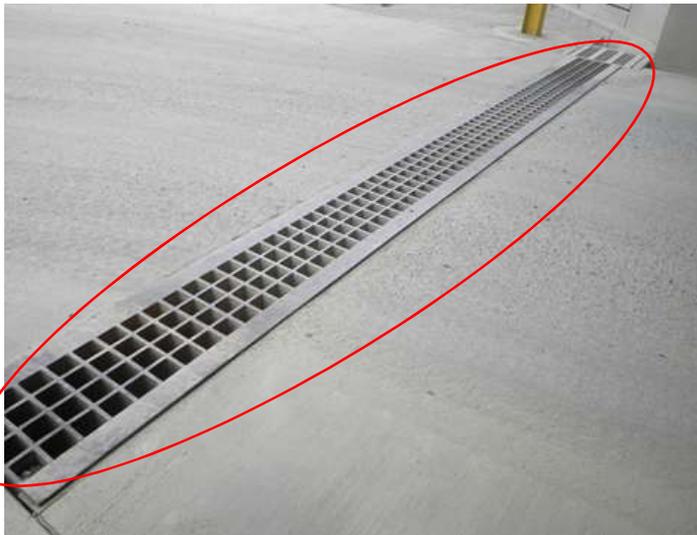
区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	—
d	—
e	排水桝取付位置などからの漏水，滞水がある。

(2)評価例

区分 (e) の評価は、「(Ⅰ) 一般的性状・変状の特徴」を参照のこと。

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ 通常では発生することのないような異常な音・振動が生じている状態をいう。



写真番号 C-17.1.1

説明

車両の通行時にグレーチングから大きな異常音が生じた例。

(注：異常音の箇所を赤線でマーキングしている)

写真番号

—

説明

—

—

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「異常な音・振動」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

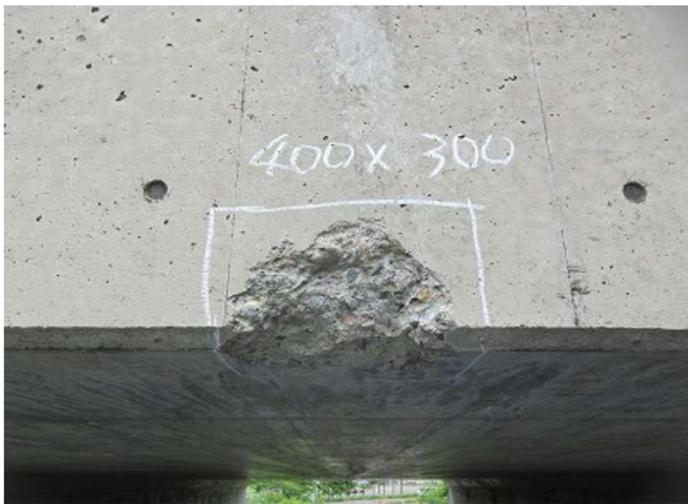
区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	—
d	—
e	部材，付属物等から異常な音が聞こえる，又は異常な振動や揺れを確認することができる。

(2)評価例

区分 (e) の評価は、「(Ⅰ) 一般的性状・変状の特徴」を参照のこと。

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ 車の衝突や施工時の当てきず、地震の影響など、その原因にかかわらず、部材が局所的な変形を生じている状態、又はその一部が欠損している状態をいう。



写真番号 C-18. 1. 1

説明

頂版の一部に欠損が生じた例。



写真番号 C-18. 1. 2

説明

側壁の一部に欠損が生じた例。

(I)一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-18.1.3

説明
道路標識に変形が生じた例。



写真番号 C-18.1.4

説明
高さ制限バーに変形が生じた例。



写真番号 C-18.1.5

説明
落下防止柵の取付部のボルトに変形が生じた例。

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-18. 1. 6

説明
添架物のプルボックスに欠損が生じた例。



写真番号 C-18. 1. 7

説明
添架管に変形が生じた例。



写真番号 C-18. 1. 8

説明
ボールに欠損が生じた例。

(注：欠損箇所を赤線でマーキングしている。)

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ 変形・欠損以外に、コンクリート部材で剥離・鉄筋露出が生じているものは、別途、「剥離・鉄筋露出」としても扱う。
- ◆ 鋼部材における亀裂や破断などが同時に生じている場合には、それぞれの項目としても扱う。



写真番号 C-18.2.1

説明
 頂版が欠損（衝突痕）し、コンクリートの剥離が生じている。
 この場合、「変形・欠損」, 「剥離・鉄筋露出」の2項目として扱う。



写真番号 C-18.2.2

説明
 側壁の一部が欠損し、鉄筋が露出している。
 この場合、「変形・欠損」, 「剥離・鉄筋露出」の2項目として扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 C-18.2.3

説明
 防護柵の支柱に変形が生じ、
 ビームの一部に破断が生じて
 いる。
 この場合、「変形・欠損」、
 「破断」の2項目として扱う。

写真番号 —

説明

写真番号 —

説明

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「変形・欠損」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	部材が局部的に変形している。 又は、その一部が欠損している。
d	—
e	部材が局部的に著しく変形している。 又は、その一部が著しく欠損している。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(1/4)

評価 c



写真番号 C-18.3.1

部材名

頂版

(CV-C-Cr)

備考

頂版の一部に欠損が生じている。



写真番号 C-18.3.2

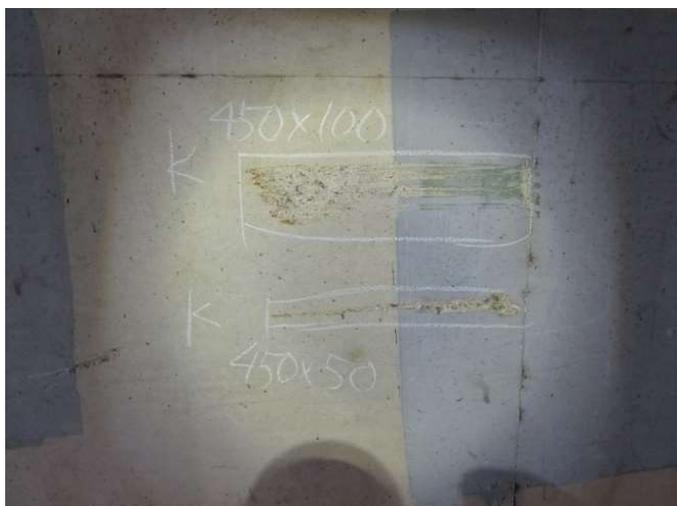
部材名

頂版

(CV-C-Cr)

備考

頂版の一部に欠損が生じている。



写真番号 C-18.3.3

部材名

側壁

(CV-C-Sw)

備考

側壁の一部に欠損が生じている。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(2/4)

評価 c



写真番号	C-18.3.4
部材名	
その他(内装板)	(X)
備考	内装板の一部に欠損が生じている。



写真番号	C-18.3.5
部材名	
その他(照明器具)	(X)
備考	照明器具に局所的な変形が生じている。



写真番号	C-18.3.6
部材名	
その他(標識)	(X)
備考	標識に局所的な変形が生じている。

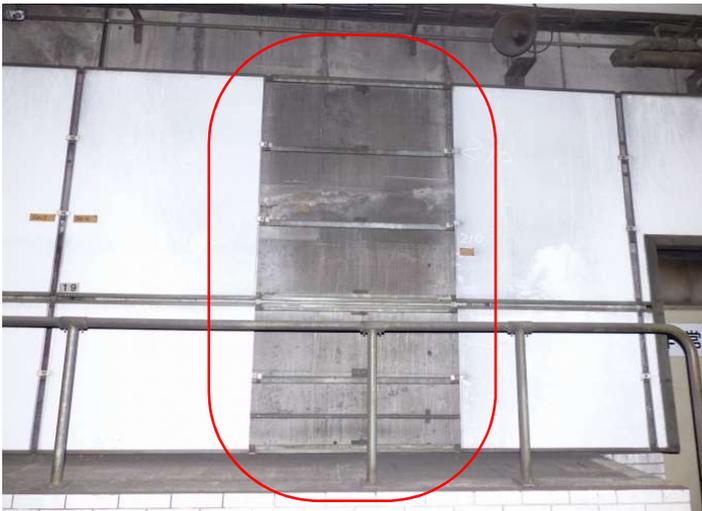
(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(3/4)

評価 e



写真番号	C-18.3.7
部材名	側壁 (CV-C-Sw)
備考	側壁の一部に著しく欠損が生じている。



写真番号	C-18.3.8
部材名	その他(内装板) (X)
備考	内装板に欠損が生じている。 (注：欠損箇所を赤線でマーキングしている。)



写真番号	C-18.3.9
部材名	路上(防護柵) (R-X)
備考	防護柵のガードレールの一部に著しい変形が生じている。

共通の変状	⑩変形・欠損	10 / 10
-------	--------	---------

(Ⅲ)変状程度の評価									
(2)評価例(4/4)	評価 e								
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-18.3.10</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>その他(防音パネル)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(X)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>防音パネルの一部に欠損が生じている。 (注: 欠損箇所を赤線でマーキングしている)</td> </tr> </table>	写真番号	C-18.3.10	部材名	その他(防音パネル)		(X)	備考	防音パネルの一部に欠損が生じている。 (注: 欠損箇所を赤線でマーキングしている)
	写真番号	C-18.3.10							
部材名	その他(防音パネル)								
	(X)								
備考	防音パネルの一部に欠損が生じている。 (注: 欠損箇所を赤線でマーキングしている)								
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-18.3.11</td> </tr> <tr> <td>その他(高欄)</td> <td>(X)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>防護柵の一区間に欠損が生じている。</td> </tr> </table>	写真番号	C-18.3.11	その他(高欄)	(X)	備考	防護柵の一区間に欠損が生じている。		
	写真番号	C-18.3.11							
その他(高欄)	(X)								
備考	防護柵の一区間に欠損が生じている。								
<p style="text-align: center;">—</p>	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>—</td> </tr> </table>	写真番号	—		—	備考	—		
	写真番号	—							
	—								
備考	—								

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ 排水柵や排水管に土砂が詰まっている状態、また、舗装路肩に土砂が堆積している状態をいう。



写真番号 C-19.1.1

説明
排水柵に土砂詰まりが生じた例。



写真番号 C-19.1.2

説明
排水溝に土砂詰まりが生じて路面が滞水した例。

(I)一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-19.1.3

説明
路肩に土砂が堆積した例。



写真番号 C-19.1.4

説明
路肩および歩道に土砂が堆積した例。



写真番号 C-19.1.5

説明
内空道路脇の水路の底版に土砂が堆積した例。

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「土砂詰まり」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	—
d	—
e	排水柵周辺等に土砂詰まりがある。

(2)評価例

区分 (e) の評価は、「(Ⅰ) 一般的性状・変状の特徴」を参照のこと。

(I) 一般的性状・変状の特徴

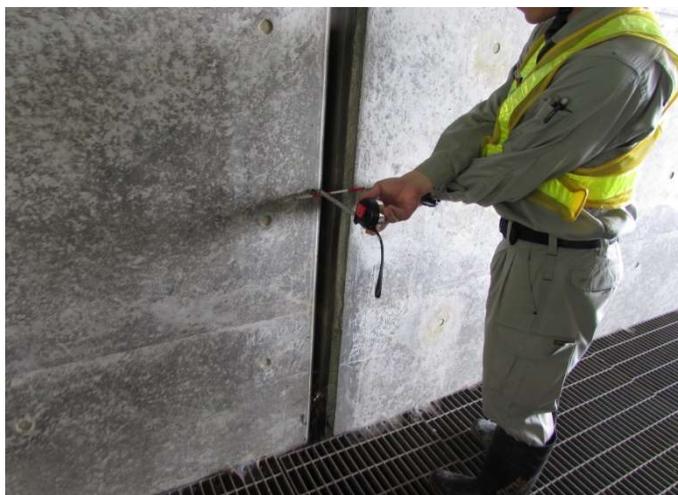
- ◆ 下部構造等が沈下，移動又は傾斜している状態をいう。



写真番号 C-20. 1. 1

説明

継手部に開きが生じた例。



写真番号 C-20. 1. 2

説明

継手部に段差が生じた例。

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-20. 1. 3

説明
継手部に段差が生じた例。



写真番号 C-20. 1. 4

説明
目地部に開きが生じた例。

写真番号 —

説明

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ 路面の凹凸・段差などの変状を伴う場合には、別途、それらの変状としても扱う。



写真番号 C-20.2.1

説明
 継手部の開きに伴い、上部道路の路面に凹凸が生じている。
 この場合、「路面の凹凸（舗装の異常）」としても扱う。



写真番号 C-20.2.2

説明
 頂版上ののり面が崩落している。
 この場合、構造物は沈下していないため、「その他」として扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 2px;">写真番号</td> <td style="padding: 2px;">C-20.2.3</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 2px;">説明</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">ウイングの背面土が沈下して空隙が生じている。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">この場合、構造物は沈下していないため、「その他」として扱う。</td> </tr> </table>	写真番号	C-20.2.3	説明		ウイングの背面土が沈下して空隙が生じている。		この場合、構造物は沈下していないため、「その他」として扱う。	
写真番号	C-20.2.3								
説明									
ウイングの背面土が沈下して空隙が生じている。									
この場合、構造物は沈下していないため、「その他」として扱う。									
—	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 2px;">写真番号</td> <td style="padding: 2px;">—</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 2px;">説明</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">—</td> </tr> </table>	写真番号	—	説明		—			
写真番号	—								
説明									
—									
—	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 2px;">写真番号</td> <td style="padding: 2px;">—</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 2px;">説明</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">—</td> </tr> </table>	写真番号	—	説明		—			
写真番号	—								
説明									
—									

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「沈下・移動・傾斜」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	—
d	—
e	支承部又は下部構造等が、沈下・移動・傾斜している。

(2)評価例

区分 (e) の評価は、「(Ⅰ) 一般的性状・変状の特徴」を参照のこと。

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ 基礎周辺の土砂が流水により洗い流され、消失している状態をいう。



写真番号 C-21. 1. 1

説明

底版前面の土砂が流水により消失した例。



写真番号 C-21. 1. 2

説明

底版前面の土砂が流水により消失した例。

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「洗掘」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	基礎が流水のため洗掘されている。
d	—
e	基礎が流水のため著しく洗掘されている。

(Ⅲ)変状程度の評価									
(2)評価例(1/2)	評価 c								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">写真番号</td> <td>C-21. 3. 1</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>底版 (CV-C-Ds)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>底版前面の土砂が流水のため洗掘されている。</td> </tr> </table>	写真番号	C-21. 3. 1	部材名		底版 (CV-C-Ds)		備考	底版前面の土砂が流水のため洗掘されている。
写真番号	C-21. 3. 1								
部材名									
底版 (CV-C-Ds)									
備考	底版前面の土砂が流水のため洗掘されている。								
—	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名			—	備考	
写真番号	—								
部材名									
	—								
備考									
—	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名			—	備考	
写真番号	—								
部材名									
	—								
備考									

(Ⅲ)変状程度の評価							
(2)評価例(2/2)	評価 e						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>C-21. 3. 2</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>底版 (CV-C-Ds)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>底版前面の土砂が流水のため著しく洗掘されている。</td> </tr> </table>	写真番号	C-21. 3. 2	部材名	底版 (CV-C-Ds)	備考	底版前面の土砂が流水のため著しく洗掘されている。
写真番号	C-21. 3. 2						
部材名	底版 (CV-C-Ds)						
備考	底版前面の土砂が流水のため著しく洗掘されている。						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>C-21. 3. 3</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>底版 (CV-C-Ds)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>底版前面の土砂が流水のため著しく洗掘されている。</td> </tr> </table>	写真番号	C-21. 3. 3	部材名	底版 (CV-C-Ds)	備考	底版前面の土砂が流水のため著しく洗掘されている。
写真番号	C-21. 3. 3						
部材名	底版 (CV-C-Ds)						
備考	底版前面の土砂が流水のため著しく洗掘されている。						
—	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>—</td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名	—	備考	—
写真番号	—						
部材名	—						
備考	—						

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ 大型カルバート等の目地部や継手部等から背面土砂が流入している状態を吸い出しという。



写真番号 C-22. 1. 1

説明
継手部から背面土砂がカルバート内に吸い出された例。



写真番号 C-22. 1. 2

説明
継手部から背面土砂がカルバート内に吸い出された例。

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「吸い出し」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	目地部等から土砂流出（吸い出し）が生じている。
d	—
e	目地部等から著しい土砂流出（吸い出し）が生じている。

(Ⅲ)変状程度の評価									
(2)評価例(1/2)	評価 c								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">写真番号</td> <td>C-22.3.1</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地・遊間部 (J-X-Eg)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>継手部から吸い出しが生じている。</td> </tr> </table>	写真番号	C-22.3.1	部材名		目地・遊間部 (J-X-Eg)		備考	継手部から吸い出しが生じている。
	写真番号	C-22.3.1							
	部材名								
	目地・遊間部 (J-X-Eg)								
備考	継手部から吸い出しが生じている。								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名			—	備考		
写真番号	—								
部材名									
	—								
備考									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名			—	備考		
写真番号	—								
部材名									
	—								
備考									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名			—	備考		
写真番号	—								
部材名									
	—								
備考									

共通の変状	㊸吸い出し	4 / 4
-------	-------	-------

(Ⅲ)変状程度の評価									
(2)評価例(2/2)	評価 e								
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-22.3.2</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地・遊間部 (J-X-Eg)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>継手部から著しい吸い出しが生じている。</td> </tr> </table>	写真番号	C-22.3.2	部材名		目地・遊間部 (J-X-Eg)		備考	継手部から著しい吸い出しが生じている。
	写真番号	C-22.3.2							
	部材名								
	目地・遊間部 (J-X-Eg)								
備考	継手部から著しい吸い出しが生じている。								
—	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名		備考			
	写真番号	—							
	部材名								
	備考								
—	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名		備考			
	写真番号	—							
	部材名								
	備考								